

5 P R T R における大気環境モニタリング

(1) 目 的

大気環境中に排出される量が際だって多い化学物質について、県内の大気環境濃度を把握し、今後の必要な施策を検討するための基礎資料を得る。

(2) 調査方法

ア 調査対象項目

調査対象項目は、トルエン及び総キシレンの2項目としました。

イ 調査地点及び調査回数

表4-5-1に示す8地点で調査を実施しました。

表4-5-1 調査地点及び調査回数

地域区分	調査地点	所在地	調査回数
一般環境	豊川市役所	豊川市金屋西町3-11	年4回
	津島市埋田町	津島市埋田町2-123-1	
	小牧高校	小牧市小牧一丁目321	
	阿久比中学校	阿久比町大字卯坂字半田ヶ峰1	
	安城農林高校	安城市池浦町茶筌木1	
発生源 周辺	東海市名和町	東海市名和町南之山10-4	
	半田市青年の家	半田市東洋町1-3-6	
沿 道	稲沢市役所	稲沢市稲府町1	

ウ 調査期間

調査期間は、表4-5-2のとおりです。

表4-5-2 調 査 期 間

調査時期	調 査 期 間
春 季	平成16年5月17日～5月18日
夏 季	平成16年8月10日～8月11日 (阿久比中学校は平成16年9月8日～9月9日)
秋 季	平成16年11月9日～11月10日
冬 季	平成17年2月15日～2月16日

エ 試料採取方法及び分析方法

減圧容器(キャニスター)を用いて、試料を24時間連続して吸引採取し、低温濃縮後、ガスクロマトグラフ質量分析法で分析しました。なお、総キシレンはo-キシレン濃度と、m-キシレン及びp-キシレンの合計の濃度を合わせた濃度としました。

(3) 調査結果

本調査は平成 14 年度からモニタリングを開始しました。

平成 16 年度の調査結果を表 4 - 5 - 3 に示します。

トルエン及び総キシレンともに 8 地点すべてで検出されました。

表 4 - 5 - 3 トルエン及び総キシレンの調査結果

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査対象項目	調査地点	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季
トルエン	豊川市役所	13	19	4.7	13	14
	津島市埋田町	17	8.7	6.5	37	15
	小牧高校	27	33	8.6	45	22
	阿久比中学校	15	7.2	8.6	33	13
	安城農林高校	17	15	3.6	23	28
	東海市名和町	22	16	7.3	43	23
	半田市青年の家	19	7.1	5.8	48	16
	稲沢市役所	18	14	10	33	13
	県平均	19				
	(15 年度県平均)	17				
	(東京都) (注1)	24				

(単位: $\mu\text{g}/\text{m}^3$)

調査対象項目	調査地点	年平均値	春季	夏季	秋季	冬季
総キシレン	豊川市役所	5.2	9.4	2.3	4.0	4.9
	津島市埋田町	4.8	2.5	1.9	11	3.9
	小牧高校	7.4	8.4	2.5	10	8.8
	阿久比中学校	6.6	2.5	3.8	15	5.2
	安城農林高校	7.1	6.4	1.2	9.9	11
	東海市名和町	8.1	7.2	2.9	14	8.3
	半田市青年の家	7.8	2.8	2.4	19	6.8
	稲沢市役所	5.6	3.8	2.8	11	4.6
	県平均	6.6				
	(15 年度県平均)	6.0				
	(東京都) (注1)	5.8				

注 1 : 東京都の平成 16 年度有害大気汚染物質調査結果のホームページ (東京都環境局) に掲載されているバックグラウンド局を除くデータをもとに作成